

2010反-貧困全国キャンペーンin徳島実行委員会

[年越し相談会]

生活保護・労働・多重債務なんでも相談会（福祉なんでも相談と合流）
 と き 12月18日（土）10:00～18:00 労福協・仕事相談室
 相談件数 9件（景気悪化し店舗を閉める、生活保護について等）



[これからの展望]

貧困の拡大は人々を追い詰め、精神を破壊し、家庭を崩壊させます。子どもへの虐待やDV問題の増加にも、そのことが現れています。また、経済事犯のみならず、強行犯をも含む犯罪率の増加をもたらします。そして、経済苦による自殺も年々増え続けています。貧困はまぎれもなく「悪」です。貧困から脱却できるセーフティーネットとしてパーソナルサポート事業に取り組み家族や地域の再生を構築し、住民が幸せに暮らせる街徳島をめざします。



安全・衛生管理者養成講座

中小零細企業における労働災害の発生件数は、大手企業と比較して高く、企業における安全衛生に対する取り組みも遅れています。そのため徳島県労働者福祉協議会では、NPO法人徳島労働安全衛生センターとともに企業における就労環境の改善のため「安全・衛生管理者養成講座」を開講し、講座運営については労働安全衛生の専門知識や資格を有する講師を招聘し『第1種衛生管理者』資格取得のサポートに努めてきました。

2000年に第1期を開講し、2010年度11期までの間に多くの受講生が資格取得に向けチャレンジし、第1種衛生管理者の免許を取得しました。資格を取得した人の中には、企業の中で衛生管理者として企業内の安全・衛生面の向上に努めている人も多くいますが、この講座の特徴は単に試験対策としての講座ではなく、職場の環境改善に必要な知識を習得するための基本講座となっており、基礎を習得した修了生は職場において環境改善のため所属企業・事業所において活躍しています。



2006.09.02 「安全・衛生管理者養成講座」開講式



長年講師を勤めていただいている小河先生（2010.08.07開講式より）

労福協なのはな居宅介護支援センター・ヘルパーステーション

- ・2000年4月 介護保険制度開始
- ・2000年6月 労福協ひまわり居宅介護支援センターとして、県に申請、認可を得る
- ・2001年5月 福祉なんでも相談ダイアルの開設(毎月第3土・日曜日10時～15時)
- ・2003年8月 労福協ひまわり居宅介護支援センターから名称を『労福協なのはな居宅介護支援センター』に変更し、開設
- ・2006年12月 労福協なのはなヘルパーステーション開設
労福協なのはな有償ボランティア開設
- ・2010年5月 労福協なのはなヘルパーステーション、サービス提供責任者が2名体制になる



[理念・目的]

住み慣れた家で、安全で安心して生活できるよう、ご本人やご家族の要望に合わせた支援・介護を行います。

◇居宅介護支援センター・・・介護保険制度の相談等、法人利益は関係なく、利用者本位の支援事業を行い、長年暮らしてきた生活域を守り、自分なりの生活感を持ち、尊厳のある生き方ができるよう要望にあわせ、介護計画を立てる。

ケアマネージャー(介護支援専門員)2名(内1名は訪問介護員兼務)

◇ヘルパーステーション・・・利用者の要望に合わせた支援を行い、在宅生活を支える。

(ホームヘルパー養成講座の実習受け入れ)

サービス提供責任者…2名 実働登録ヘルパー…22名



◇有償ボランティア・・・制度以外での、利用者のお困りごとに対応する。

(草抜き・お墓の掃除、制度以外での家事援助など)

登録支援者(ヘルパー有資格者・無資格者)25名以上

[展望]

- ・人生に関わる事業には休み終わりがありません。
- ・安心して頼ってもらえる事業所として、人材を育て継続した事業ができるよう最大の努力をしていく。
- ・事業を支える働くヘルパーにとって、働きやすい環境を整える。
- ・全ての人の権利を大切にできる事業所として研鑽を積み、情報発信のできる事業所をめざしていく。

居宅介護支援

		H15年8月	H16年4月	H17年4月	H18年4月	H19年4月	H20年4月	H21年4月	H22年4月	H22年12月
利用者数	要介護	16	30	44	42	20	28	28	36	39
	要支援	0	0	0	4	13	11	11	12	9
	訪問調査	0	0	0	0	10	10	10	10	10

ヘルパーステーション

		H19年4月	H20年4月	H21年4月	H22年4月	H22年12月現在
利用者数	要介護利用者	4	9	15	19	18
	予防訪問介護利用者	5	16	17	22	20
	自立支援利用者	2	6	10	11	13
	有償ボランティア定期利用者	0	1	1	3	4
	合計	11	32	43	55	51
介護自立支援報酬	介護保険分	¥109,750	¥437,680	¥704,110	¥720,130	¥880,260
	予防介護保険分	¥101,800	¥249,880	¥259,140	¥345,520	¥455,720
	自立支援分	¥42,200	¥291,660	¥390,590	¥340,430	¥418,310
	合計	¥253,750	¥979,220	¥1,353,840	¥1,406,080	¥1,754,290

(有償ボランティア利用者のうち、短期分は利用者数に入れず。)



福祉サポート事業部スタッフ